

2 政策手段に係る重点分野

■環境教育・環境学習の推進

～市民のライフスタイルの改革に向けた取組の推進～

重点 目標

環境教育・環境学習の場や機会の充実、人材育成等の基盤整備を目指す。

施策の概要

地域の環境問題や地球環境問題を解決していくためには、市民一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルを実践し、また、事業者も資源・エネルギーを大量に消費する生産や流通のあり方を見直し、環境にやさしい事業活動を行うことにより、社会全体を持続可能な循環型のものに転換していくことが必要です。その基礎をなすものとして、環境教育・環境学習は、ますますその重要性が認識されています。

市では、1995年度に、環境教育・環境学習を計画的かつ効果的に推進していくためのガイドラインとなる「川崎市環境教育・学習基本方針」（2005年度改訂）を策定しました。この基本方針に基づき、毎年、環境教育・学習に関する事業実施一覧を作成するなど、庁内関係機関が実施する事業の連携を図っています。

市が実施している主な事業としては、環境副読本等の教材の作成・配布、社会教育施設等におけるセミナーや学習会等の開催のほか、ホームページや環境情報等の発行により、環境教育に資する情報の提供を行っています。

また、人材育成として地域環境リーダー育成講座、緑化推進リーダー養成講座等を実施しており、講座の修了者は、地域における環境保全活動のリーダーとして活躍するなど、主体的に環境保全活動に取り組んでいます。

重点的取組事項の実施状況

●環境教育・環境学習事業の内容の充実

・体験型環境学習の推進及び副読本等の教材・プログラムの充実・強化

1 体験型環境学習の推進

(1) オープンラボ、環境科学教室、環境セミナー

良好な環境の保全、創造に資するため、科学実験等の体験学習を通じて、身近な環境問題への関心や知識を深めてもらうことを目的に開催しました。

(2) 水辺の楽校、かわさき多摩川博 2008

市民の身近で親しみのある多摩川に触れる機会や体験を通じて、多摩川の自然環境の豊かさや保全の重要性を理解してもらうことを目的に開催しました。

(3) 出前ごみスクール

小学校に生活環境事業所の職員が出向き、分別ゲームやごみ収集の実演を通じて、ごみの減量やリサイクルの大切さなどを学んでもらうことを目的に開催しました。

(4) その他

エコドライブ講習会、地球に美味しい「エコ・クッキング」や「水の浄化実験」などの体験型環境学習を実施しました。

2 環境に関する学習教材等の作成・配付

(1) 環境副読本

環境関係全般の副読本として、「わたしたちのくらしと環境 明るい未来に向かって」（小学4～6年生用）と「あしたをつかめ！Yes, We Can!」（中学1～3年生用）を作成・配付しました。

(2) 社会科副読本

① 「くらしとごみ」

廃棄物の収集・処理・リサイクルについての資料として作成し、小学3・4年生に配付しました。

② 「川崎市の下水道」

下水道の役割と「循環」する水の大切さを理解してもらうための資料として作成し、小学4年生に配付しました。

③ 「川崎市の水道」

飲み水ができるまで、水道の歴史等身近な水道について理解してもらうための資料として作成し、小学4年生に配付しました。

(3) その他環境学習等資料

市民向けに「空気のよごれ」、「川の生きもの」、「私たちがごみと環境」の小冊子やゲーム教材（「川崎版エコライフゲーム」）及び家庭で簡単にごみの減量・リサイクルできる手法を紹介する「チャレンジ生ごみダイエット～私からはじめる実践編～」を作成しています。その他、公害研究所が実施している環境学習プログラムを「環境学習メニュー集」としてまとめています。

・学校における環境教育の充実・強化

市立小学校114校中114校、市立中学校51校中43校が、「総合的な学習の時間」等で学校・地域の特色を活かし、「環境学習」に取り組んでいます。

○主な内容は、

- ・水に関すること（河川、水源など）
- ・自然保護活動、森林に関すること（水資源、森林破壊など）
- ・地球規模の環境問題（地球の温暖化、砂漠化、酸性雨など）
- ・大気に関すること（大気汚染など）
- ・植物栽培、動物飼育、ピオトープなどに関すること等です。

○主な活動は、

- ・省エネ活動、資源収集・リサイクル活動、地域との関わりを持つ活動などの体験活動
- ・地域の人材活用、他地域の学校などとの交流、見学・調査活動
- ・ボランティア活動、表現活動（作品化、発表会など）、関係機関の協力や連携等
- ・かわさき地球温暖化対策推進協議会・市民部会の企画によるエコショッピング・クッキングの実施
- ・水育として、水の種類・役割、使われ方、生活との関わりについての学習等です。

学校における環境学習の取組を進めるため、環境に関する学習教材等を作成・配付し、副読本を活用した環境学習への取組を啓発するとともに、環境学習支援のため、人材派遣などの協力を行っています。

・幼児環境教育の推進

幼児環境教育は、人間形成の基礎を培う幼児期より、自然に触れ合い、自然の大きさ、美しさ等に直接触れる体験を通じて、自然に対する豊かな感性や、持続可能な社会環境を築く環境に配慮した生活習慣を身に付けること等の力を養います。2007年度は新たに幼児教育プログラムを（社）川崎市幼稚園協会と協働で作成し、市内全私立幼稚園（85園）の教諭に配付しました。

・IT等を活用した情報交換・交流の場の整備

2003年度から、市の環境教育・学習に関する総合的な窓口となるホームページを開設しています。HPアドレス (<http://www.city.kawasaki.jp/30/30kantyo/home/gakusyuu/top.htm>)

●環境教育・環境学習推進のための基盤整備

・地域環境リーダーや緑化推進リーダー等環境教育・環境学習や環境保全活動の核となる人材の計画的な育成

1 地域環境リーダー育成講座

地域や職場で環境学習や環境保全活動を率先して行うことのできる人材の育成を目的に実施しています。2008年度は20名が講座を修了しました。

2 花と緑のまちづくり講座（緑化推進リーダー養成講座）

市民による自主的な緑化活動や地域の緑化推進活動を率先して行うことのできる人材の育成を目的に実施しています。2008年度は18名が講座を修了しました。

3 里山ボランティア育成講座

緑化推進リーダー

緑の保全及び緑化の推進に関し、地域における市民の自主的な活動の指導的な役割を担う。市では、講習会の開催その他必要な支援を行う。

里山の自然環境や管理手法を学び、里山ボランティアの人材を育成することを目的に実施しています。2008年度は36名が講座を修了しました。

・環境教育・環境学習、環境保全活動を推進する拠点づくり

1 川崎市立小学校における省エネ共和国

「省エネ共和国」は地球温暖化防止のために学校、商店街、家庭や地域など、身近な場で日常的な省エネルギー活動の取組を進めるため（財）省エネルギーセンターが実施しています。川崎市では、1998年に市立新町小学校が市内ではじめて登録（共和国宣言）し、これまでに川崎区の市立小中学校を中心に現在21校（全国で174校）が登録して、次のような活動を行っています。

○省エネ共和国の主な活動

- ・省エネ共和国を校内外に表示
- ・「省エネナビ」を活用した省エネ活動
- ・各校独自の省エネ活動の推進
- ・家庭、地域への省エネ活動への発信や連携推進

2 橋リサイクルコミュニティセンター

1993年度に、市民による廃棄物の再利用及び再生利用に係る活動への支援並びに廃棄物に係る市民への環境学習を行うことにより、資源循環型社会の構築を推進する目的で設置され、廃棄物等に関する情報提供、再利用品の提供、各種講座等を行っています。

3 ニヶ領せせらぎ館、大師河原水防センター

国土交通省の河川管理施設の一部を川崎市が借り受け、多摩川に関する情報発信や環境教育の拠点施設として整備し、水辺の楽校を始めとした地域・学校との連携による多様な環境教育・学習に取り組んでいます。

4 環境教育・環境学習拠点の充実

今日の複雑・多様化した環境問題に対し、科学的な裏付けを持った行政施策を展開するため、環境総合研究所の整備に向けた検討を行っています。

この新しい研究所の整備に向けた検討の中で、現在行っている環境教育・環境学習の強化を図り、様々な環境教育・学習事業の推進を目指しています。

●環境保全に関する活動等を通じた環境教育・環境学習の促進

・川崎らしい歴史的文化的資源や自然資源の選定等による環境教育・環境学習の促進

1 生田緑地での自然観察会

2 臨海部における環境学習

- ・川崎マリエンで行われる NPO 法人川崎の海の歴史保存会による海の体験学習（東扇島東公園の人工海浜へ設置した海苔網の見学会や「海苔つけ」体験—四谷小学校 他）
- ・「製鋼スラグを用いた藻場造成による CO₂固定技術」について、企業・NPO・大学、研究機関との連携による技術開発及び NPO を通じた地域住民・小中学生等への PR 活動
- ・川崎港見学会を通して、巡視船「あおぞら」の乗船や東扇島東公園を散策するなど、海にふれあえる機会の提供

3 平瀬川、矢上川、多摩川等の河川における環境学習

- ・市民団体との連携・協力による河川の自然観察・地域清掃活動等
- ・河川の下流・中流に位置する小学校の交流を通じた体験学習
- ・河川の環境調査、水質検査などを通じた環境学習
- ・「水辺の楽校」への参加、広報など

・学校等への太陽光発電設備等の自然エネルギーの導入による利用者の意識啓発の推進

市立学校の改築等にあわせて太陽光発電設備等の導入を進めています。2008年度は東生田小学校、御幸小学校に太陽光発電設備を設置しました。

- ・太陽光発電設備設置校 1999年度～2008年度 15校
- ・ソーラー街灯設置校 8校

太陽光発電

太陽光を電気に変換する光電素子を利用した発電方式